

【 News Release 】 2018年2月1日
コンバーティングテクノロジー総合展事務局

報道関係者各位

炭素繊維は未来をどこまで変えるか ～北陸・四国などの地域出展者が魅せる最新の製造・加工技術～ 新機能性材料展 2018

株式会社加工技術研究会と株式会社 JTB コミュニケーションデザインは、**新機能性材料展**を、2月14日（水）～16日（金）の3日間、東京ビッグサイトにて開催します。

新機能性材料展 2018では、北陸地域から四国まで、炭素繊維複合材料に関する素材や成形加工メーカーが出展します。金属代替材料として注目を集める炭素繊維複合材料は、高コスト・低生産性、加工性が課題ですが、材料開発や量産技術は向上し、複雑な成形加工から仕上げの製造技術まで、技術力で世界を牽引する日本企業の活躍に近年注目が集まっています。

本展では、福井県工業技術センター、四国産業・技術振興センター（アスカ、阿波製紙、四変テック等）をはじめとする展示の他、量産車への複合材適用に関する帝人のセミナー等を同時開催します。未来を変える炭素繊維の力を本展で体感してください。

----- 【 炭素繊維複合材料セミナー 】 -----

2月14日（水）10:30-12:40 マテリアルステージ（東3ホール内） [詳細はこちら](#)
10:30-11:10 『量産車に向けた複合材の適用について』

帝人 複合成形材料事業本部 オートモーティブ事業開発推進部 マネージャー 石渡 伸
（ブース番号 3F-24 炭素繊維補強木材「AFRW」等を出展）

11:25-11:55 『炭素繊維束の開織技術の開発と新しい複合材料への展開』

福井県工業技術センター 新産業創出研究部 先端複合材料研究グループ 総括研究員 川邊 和正
（ブース番号 3A-24 薄層プリプレグシート材、薄層ランダムシート材を出展）

他、日本ゼオン 総合開発センター CNT 研究所が講演します。

----- 【 注目の新製品・技術/開発品 】 -----

▼[福井県工業技術センター](#) [小間番号：3A-24 次世代モノづくりゾーン]

出展製品：＜新製品＞薄層ランダムシート材

薄層ランダムシート材は、世界最薄クラスの薄層セミプリプレグシートを幅5～20mm、長さ10～30mmの短冊形のテープ状に切断し、幅広のベルト上に均一に散らして重ねて加熱・圧着することでシート状の基材にしたものです。薄層積層であることと、繊維の方向性がランダムであることが特徴で、力学的特性と賦形性に優れた基材です。

ポイント1.「薄層チョップドシート材」を高生産できる加工技術を確立



